



中村研一畫

〔中村研一画絵葉書〕

中村研一 1895～1967 年



清水登之畫

〔清水登之画絵葉書〕

清水登之 1887～1945 年



口絵 1



〔戦争柄端布〕

岩松寺寄贈史料。

富貴長生、男児誕生を祈る吉祥模様として、男子にとつての立身出世の象徴であった城や軍務を寿ぐ図柄が描かれている。

第二部 解説編「衣」に入り込む戦争」参照。







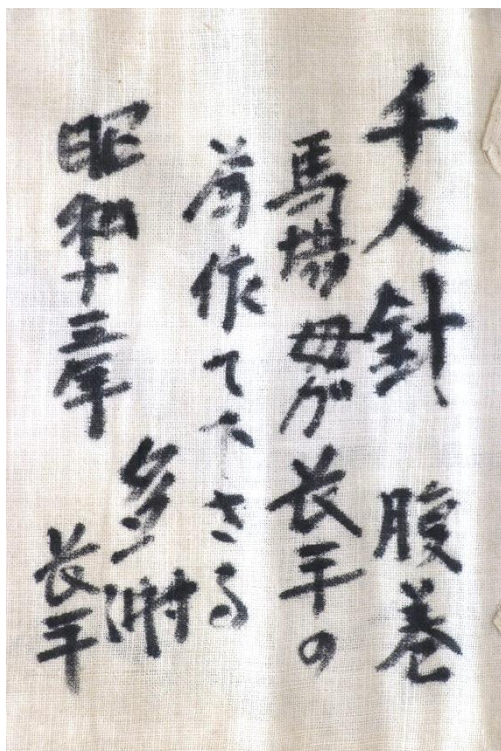
〔千人針〕

千人針は、日中戦争〜アジア・太平洋戦争期に流行したもので、さらしの綿布に、赤の綿糸で、女性に一針ずつ縫ってもらい、千人の女性による千針の刺子を出征兵士に贈り、「弾丸よけ」としたもの。

虎の絵が書かれているが、これは、「虎は千里を行って千里を帰る」という言葉にちなんで出征者の無事を願う虎の刺繍をしたもの。

針は二箇所に分かれて刺されているが、それぞれ八〇二針十二針の計一〇一四針刺されている。

第二部 解説編「衣」に入り込む戦争」参照。



武進人





国旗への寄せ書き

旗に人々が寄せ書きをして出征する人に持たせたものだが、実は禁止されていたらしい。

その理由は、昭和十六年（一九四一）一月十六日の上浅羽村「生活新体制実践要項」には「入営応召兵持参ノ国旗ニハ寄書ヲ為サザルコト（国旗ノ尊厳ヲ傷クルタメ）」とあり、国旗への寄せ書きは、国旗の尊厳を傷付ける行為とされていたためらしい。

第二部 解説編「衣」に入り込む戦争」参照。

上写真の国旗には「祈武運長久」、「為木村増雄君／鷺山弘作」、「陸軍少将田中正季」とある。

鷺山弘という人物が企画し、陸軍少将田中正季が「祈武運長久」という文字を揮毫し、木村増雄に贈ったのだろう。

禁止されても、国旗を贈る風習は途絶えなかったようだ。





上写真の国旗は松尾佐一郎（第二部 解説編「松尾医官」参照）のもの。
国旗寄せ書きはぼろぼろのものが多い。

ヲ供スルハ此ノ限ニ非ス、酒ハ全廢トシ止ムヲ得サル場合ニ於テモ湯棺酒、精進落ヲ通ジ三升以下トス、精進落ハ精神上ノ程度ニ止ムルコト逮夜ノ饗應ハ茶菓ノ程度トスルコト、拂日三日ノ料理ハ簡素トシ台引ハ全廢トスルコト、香奠返シ及ビ禮狀ハ全廢スルコト

③ 花輪、香料——花輪及供物等ハ全廢トシ香料ハ禮ヲ失セザル程度ニ節減スル事

④ 法 要——簡素ヲ旨トシ引物ハ全廢スルコト尙配リ餅ハ廢シ寺院ニ對スル謝禮ハ金錢ヲ以テスルコト

(4) 入營、應召ニ就テ

① 幟其ノ他——幟ハ絶對ニ立タザルコト

歡迎門及萬國旗ハ之ヲ廢止シ門口ノ國旗ニ止ムルコト

入營應召兵持參ノ國旗ニハ寄書ヲ爲サザルコト（國旗ノ尊嚴ヲ傷クルタメ）

② 土產物——村內及親類ト雖モ土產物ラシキ物ハ絶對ニ配ラザルコト

(5) 饗 應

① 出發ノ前夜——組內ハ可成小範圍、隣家程度ニ止メ、勉メテ質素ヲ旨トスルコト

② 出發當日——當日ノ祝酒ハ御神酒ニ止ムルコト

③ 歸還當夜——出發前夜ニ於ケル條項ニ同ジ

(6) 其ノ他ニ付テ

① 食料品ヲ以テスル贈答ハ絶對ニ避ケ金錢又ハ實用品ヲ以テ換フル方法ニ依ルコト

生活新体制實踐要項

(1) 結婚ニ就テ

- ① 見合——自宅若シハ是ニ準ズル所ヲ選ビ簡素ヲ旨トシ高價ナ服装ヲ贅離ハス
- ② 結納——儀禮ノ程度トシ最高百圓ニ限リ結納金ハ結婚金ノ二倍ノ程度トス
- ③ 式服——式服ハ洋服等ヲ利用シ得ル場合ハ必ズ之ニ依リ然ラザル場合ニモ簡素ナル一着ニ限リ花嫁ハ留袖以下トシ花婿ハ平服ニ儀禮ヲ擬ス
- ④ 支度——花嫁花婿共最高百圓一掠後具入一組トス
- ⑤ 舉式——神社家庭又ハ公共ノ處所ヲ主トシ簡素嚴肅ニ行ヒ式ハ土人控處ヲ通ジテ一日限ヲシ十二時前ニ終リスルモノトス但シ一方宅ニ於テ舉式スルモ可ナリ
- ⑥ 披露宴——可成小範圍ヲ原則トシ簡單ナル小宴(料理代ハ一人當リ四圓以下トシ酒ハ一人二合ヲ限度トス)ニ止メ引物ハ絕對ニ廢止ス土人控處ハ式後ニ行ヒ懇話ハ茶菓ノ程度トス
- ⑦ 婚姻届——結婚式場テ後的人印捺持シ署名捺印ノ上作製スルコト

(2) 出産其ノ他ニ就テ

- ① 出産祝——精神ヲ主トシ可成物品ヲ用ヒズ産親者ノミ於テ簡素ニ行フコト出行前七夜御(ハラバタ御)等全廢スルコト
- ② 節句——幟、雛飾、破摩弓等ハ全廢シ祝ハ内祝ノ程度トスルコト
- ③ 誕生祝其ノ他——個人間ノ贈答儀禮其ノ他形式的ノモノハ全廢スルコト其ノ他莫ニ止ムヲ得ザルモノト雖モ金錢又ハ實用品ヲ以テスルコト
- ④ 多賀歳暮等——米餅ヲ以テスルコトハ全廢スルコト

(3) 葬祭ニ就テ

- ① 葬儀——送葬板ハ全廢トス但シ遠來ノ會葬者ニシテ食事ヲ要スルモノモ風呂ヲ供スルハ此ノ限ニ非ズ、酒ハ全廢トシ止ムヲ得ザル場合ニ於テモ湯桶清、精進湯ヲ通ジ三升以トス、精進湯ハ精神上ノ程度ニ止ムルコト連夜ノ儀禮ハ茶菓ノ程度トスルコト、拂三日ノ料理ハ簡素トシ台引ハ全廢トスルコト、香奠返シ及ビ禮狀ハ全廢スルコト
- ② 花輪、香料——花輪及供物等ハ全廢トシ香料ハ體ヲ失セザル程度ニ節減スル事ハ金錢ヲ以テスルコト
- ③ 法要——簡素ヲ旨トシ引物ハ全廢スルコト尙配り餅ハ廢シ寺院ニ對スル謝禮ハ金錢ヲ以テスルコト

(4) 入營、應召ニ就テ

- ① 幟其ノ他——幟ハ絕對ニ立タザルコト
- ② 歡迎門及萬國旗ハ之ヲ廢止シ門口ノ國旗ニ止ムルコト
- ③ 入營應召兵持參ノ國旗ニハ寄附ヲ爲サザルコト(國旗ノ尊嚴ヲ傷ケルタメ)

(5) 土產物

村内及親類ト雖モ土產物ヲシキ物ハ絕對ニ配ラザルコト

(6) 饗應

- ① 出發ノ前夜——組内ハ可成小範圍、國家程度ニ止メ、勉メテ賀素ヲ旨トスルコト
- ② 出發當日——當日ノ祝酒ハ御神酒ニ止ムルコト
- ③ 歸還當夜——出發前夜ニ於ケル條項ニ同シ

(7) 其ノ他ニ付テ

(7) 實行方法

- ① 本決議ヲ實踐スル爲メ本村ニ實行委員會ヲ設ク
- ② 村長ヲ委員長トシ村會議員、常設委員ヲ以テ委員トス
- ③ 各字内班長ヲ實行班長トス
- ④ 本決議事項ノ實踐ニ際シテハ先づ實行班長ニ於テ講習ヲ期シ疑問事項ニ就テハ當該委員ト協議ノ上決定スルコト
- ⑤ 村外トノ交渉ニ當リテハ事前ニ相手方ノ諒解ヲ求メ必ズ實行ヲ期スルコト
- ⑥ 本決議ノ實行其ノ他議會合等ニ當リテハ特ニ時間ノ勵行ヲ期スルコト

昭和十六年一月十六日決定

磐田郡上淺羽村

「生活新体制實踐要項」

昭和十六年(一九四一)一月十六日に、日中戦争の長期化を受けて、倭約を主とする「生活新体制」の實踐をうったえたもの。

第二部 解説編「生活」など参照(多くの項でこの史料に触れている)。

月

ふく出の海

遠州灘 大景

別珍コール天織場

養魚池

三月 森

三木の里

國幣社小國神社

縣社天宮神社

大洞院

四月 可睡

ねむの花里

三尺坊大權現

可睡齋

護國塔

五月 法多

小笠の麓

厄除觀世音

尊永寺

八十八ヶ所行道

足袋

いな饅頭

茄子の鳴焼

鮫鱈甘煮

蛙防風

春雨

新茶

鮎

梅ころも

さばしり鮎

テイススケ(飲料)

椎茸めし

牡丹

煙火

競馬

座禪豆

百合牡丹

卷葉壽司

里芋音止め煮

五月雨

杜鵑

早松茸

さゝなきすし

ハツタトギス

松茸炮烙むし

串團子

月

袖師の浦

縣社三熊野神社

西大谷觀音

松尾城趾

九月 山梨

月見里

高平大佛

板築橋

飯田城趾

十月 淺羽

あさぢふの田面

見渡すかぎりの

大耕地

延命院

十一月 原川

脊川の出合

かさ薬師

同心橋

椎の木店

清水

木の芽松露

鈴虫

菊

いかもごきの黄味酢

納涼

筏鮠

蒲穂焼

月見キャベツ

タカヒライス

稲の花

鳴子

鴈

落穂

紫蘇めし

深山焼中和酢

鴨の骨たゝき

柚子みそ風呂吹

やな

茶立虫

木の實

嫁菜と姑干し浸物

卵の花コロッケ

鰯の脊川鍋

甘さけ

篩月莊主人新案

名 所 古 新	月正 秋 葉	縣社秋葉神社 一位のみ山	京 春 九 壯 丹	月二 福 田	遠州灘 大景 別珍コール天城場 養魚池	月三 森	國幣社小宮神社 縣社天宮神社 大洞院	月四 可 睡	ねむの花里 三尺坊大徳現 可睡齋 護國塔	月五 法 多	小聖の麓 厄除觀世音 尊永寺 八十八ヶ所行道	月六 豐 濱	豐樂の濱 河口海水浴 促成温室
課 題	初 日	鶯 鶯 なまりの掛汁 あめの魚味噌し	蘭	足 袋	蛙 風	春 雨	新 茶	牡 丹	煙 火	競 馬	五月 雨	杜 鵑	早 松茸
名 物 料 理 共 通	吹よせ漬雪 餅 なまりの掛汁 あめの魚味噌し	芽のくきの三和酢 いな饅頭 茄子の鴨焼 鯨鯉甘煮	梅ころも さばしり帖 テイススク(飲料) 椎茸めし	摩羅豆 百合牡丹 巻葉壽司 里芋止めの煮	さうなきすし ハッタトギス 松茸炮烙むし 串團子	青のりと煮干粉 沖なます メロンスキー(飲料) いわし井	瓜 初かつは	更 衣	瓜 初かつは	更 衣	更 衣	更 衣	更 衣
名 所 古 新	月七 油 山	瑞光寺 まぐさの原 油三山重光寺 油三山重光寺	月八 横 須賀	縣社三熊野神社 西大谷觀音 松尾城趾	月九 山 梨	高平大佛 板築趾 飯田城趾	月十 淺 羽	あさづきの田面 見渡すかぎの大地 延命院	月十一 原 川	春川の出合 かき薬師 同の木店	月二十 袋 井	斜陽驛 天理教山名大教會 櫻名大教會 入る日の静橋	
課 題	日 傘	葛の花	蟬	清 水	鈴 虫	菊	納 涼	月 花	橙の花	鳴 子	鴈 穂	落 穂	や な
名 物 料 理 共 通	濃吸物 豆腐のぐず煮 ジャガ芋三和酢 炒豆菜めし	木の芽松露 鯉のうしは いかもぎの黄味酢 磯引のせこし鰯	萩 蕨 月見キャベツ タカヒライス	蒸麩 深山焼中和酢 鴨の骨たき 柚子みそ風呂吹	嫁菜と姑干し浸物 卯の花コロッケ 鮎の春川鍋 甘さけ	午芳のくるみ(和) ドビーグラス(材料) リボンフライ 四季のよせ鍋	掛 乞	小 春	掛 乞	小 春	掛 乞	小 春	掛 乞

秋葉・福田・森・可睡・法多・豊浜・油山・横須賀・山梨（袋井市北部の地名です）・浅羽・原川・袋井の十二の地点を「中遠十二勝」として、名所と名物料理を作り、パックで売りだそう、という案なのだが、ネーミングなどはかなり適当に考えられている。

「ハッタトギス」（法多十ホトトギス）など、名前から内容が想像できない料理が多い。

第二部 解説編 「食」に入り込む戦争」参照。

口絵 12



兵第八號

昭和十六年一月六日

發行者長 高橋弘平

及口隣保班下長殿

歸還軍人出迎へ際ノ

駅ホーム入場ニ關スル件ニ通知

最近鉄道乗降客非常ニ増加シ之レガ爲メ駅ホームハ甚ダ混雜ヲ
極メ居リ日夜鉄道當局ニ於テハ之レガ善後處置ニツキ萬全ヲ期シ
居リ候處今般鉄道當局ニ於テハ乗降客緩和策ノ一途トシ
テ歸還軍人出迎ヘニ際ニテハ一切入場券ハ免費セズ其代ハリ
極メテ少數入場證ヲ役場ヨリ交付スル事ト相成候間勉メテ駅前廣
場ニ於テ御出迎相成様致サレ度此旨班内一般へ周知方御取計ニ相
類度此段及御依頼候也

米鬼撃滅のため

一億防諜總武裝!!

名古屋逓信局・名古屋憲兵隊・京都憲兵隊
愛知・岐阜・三重・静岡各縣警察部

敵を撃滅するには

陸海空の戦ひだけでは無い。

私達の目に見へない敵——スパイと

デマ宣傳——にも勝たねばならぬ。

スパイは特に皆さんの通信を狙つてゐます!!
郵便・電報・電話で通信するときは
先づ防牒上差支ないかどうかを考へませう。

んせまけいは信通なんこばへ例

▲召集、入營 の状況	太郎も十五日中部第〇〇部隊（戦車隊）の約二千名に及ぶ召集者の一員に入り候	これ等が
▲軍事施設の 内容	私の微用された〇〇工場は従業員約六千名で毎日飛行機〇〇台を作つてゐます	スパイの
▲船舶、航空 機の動靜	今度大和村の南に飛行場が出来、格納庫も建築中です	手に入り
▲當局發表以 外の空襲被害 状況	ハナコ二五ヒナガサキハツナンキンマルニテ二九ヒキ	デマ宣傳の
▲その他、流言蜚語の源、國民の士氣を沮喪させるもの	モシモシ之は内緒ですがネ 死傷は五〇〇以上で有名な 〇〇工場も爆撃されました	皇軍の 作戦を 妨げます。

静岡縣上浅羽郵便局

終覽回日	月	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	號番	覽回日	始覽回
																	覽回	日	月

兵士の見送りと出迎え

出征兵士の見送りと、帰還する兵士の出迎えには、時期によつて様々な規制がかけられました。

戦況の悪化により、戦没者が増えると、軍も遺族の感情に配慮し、帰還兵の出迎えを自粛するよう呼びかけたり、戦争末期には、防諜のため出迎え、歓迎の儀礼を禁止したり……。

第二部 解説編「兵の見送りと帰還」参照。

前ページのホーム入場制限は、まだ防諜が叫ばれていない時期のもので。この時期には、かなり盛大な見送りが行なわれていたでしょう。
上は、防諜のための注意を呼びかける回覧板ですが、「例へばこんな通信はいけません」の欄にある例を見ると、スパイ以外でこんな通信をする人がいるのかなあ、というようなものばかりです。

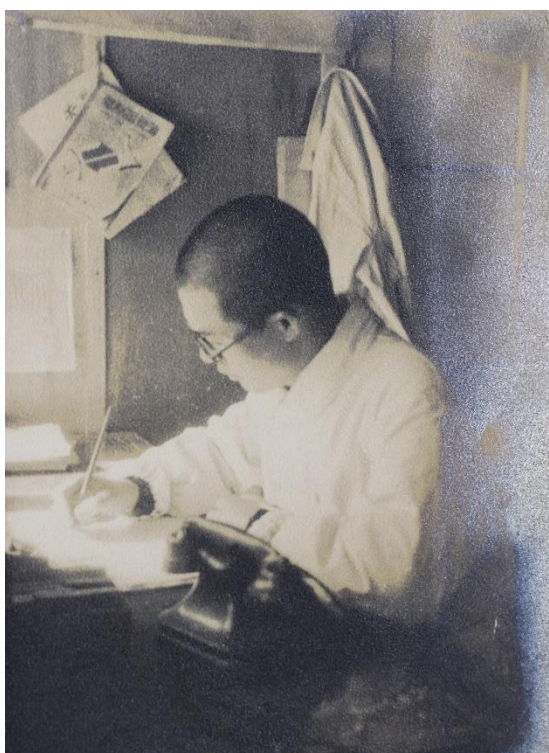




松尾医官

三川の松尾佐一郎は、医官として中国で地域医療に従事しました。主に雲崗石窟寺院に近い広靈県維新村で活動していたようです。

第二部 解説編「松尾医官」参照。





上 雲岡石窟寺院パノラマ写真

左下 広霊県維新村の人たちと松尾医官

(中央 松尾医官)



恭送
松尾佐一郎醫官大德

皇軍

萬歲

廣靈南村韓慕德恭送

松尾先生德政

晉澤廣大

前此廣靈南
村韓慕德
恭送



大日本国防婦人会櫛

国防婦人会は、割烹着に櫛、という服装で活動した婦人団体。

各種婦人会は、軍事援護を目的としていた。

第二部 解説編「婦人会」参照。

袋井町婦人会

大日本国防婦人会

折り目を見ると

もとは「大日本国防婦人会」と印刷された襷。裏面に型抜き文字で「袋井町婦人会」という文字を書いている。襷には強い折り目がついており、「袋井町婦人会」側が強い山折り線のため、旧所有者は「袋井町婦人会」と書かれた面を主に使用していたことが明らかである。左に折り目部分の拡大写真。

袋

袋

大日本

大日本

放送時刻表

東京中央・長野・静岡・新潟・前橋・濱松・甲府・松本・各放送局

第一放送					
平日			日曜・祝祭日		
開始時刻	放送時間	放送種目	開始時刻	放送時間	放送種目
前 6.00	.25	ラジオ体操	前 6.00	.25	ラジオ体操
6.25	.05	ニュース	6.25	.05	ニュース
6.30	.59	講演、講座	6.30	.29	講演、講座、実況
7.00	.01	時報、気象通報	7.00	.01	時報、気象通報
7.01	.19	講演、講座	7.01	.19	講演、講座
7.20	.20	音楽	7.20	.20	音楽
7.40	.05	気象通報	7.40	.05	気象通報
7.50	.15	ラジオ体操	7.45	.20	ラジオ体操
8.30	.10	気象通報	8.30	.10	気象通報
9.05	.05	経済市況	9.00	.30	音楽
9.30	.15	経済市況	9.30	.30	子供ノ時間
10.00	.20	音楽、家庭メモ、衛生メモ	10.00	1.10	講演（日曜勤行共）
10.20	.20	料理献立、日用品値段			音楽、演藝、実況
10.40	.20	講演、講座	11.30	.10	海外市況
11.00	.15	経済市況	後 0.00	.30	時報、音楽、演藝
11.40	.19	幼児ノ時間、小學生ノ時間	0.30	.30	ニュース、局報、気象通報
後 0.00	.30	時報、音楽、演藝	1.00	2.30	音楽、演藝、実況
0.30	.35	ニュース、気象通報、局報	3.30	.10	気象通報
1.05	.05	経済市況	4.00	.20	ニュース、局報
1.50	.10	経済市況	6.00	.25	子供ノ時間
2.00	.25	小學生ノ時間			子供ノ新聞
2.25	.05	気象通報	6.25	.35	講演、講座、音楽
2.30	.10	経済市況	7.00	.30	ニュース、気象通報、局報
2.40	.20	ラジオ体操	7.30	2.10	講演、音楽、演藝、実況
3.00	.20	講演、講座、音楽	9.40	.50	時報、ニュース、気象通報等
3.20	.30	教師ノ時間			
3.50	.10	経済市況			
4.00	.30	ニュース、局報			
5.25	.05	経済市況			
5.30	.30	講演、講座			
6.00	.25	子供ノ時間			
		子供ノ新聞			
6.25	.30	講演、講座、音楽			
		産業ニュース			
6.55	.05	カレント・トピックス			
7.00	.30	ニュース、局報			
7.30	.10	気象通報			
		講演又ハ音楽			
7.40	2.00	講演、音楽、演藝、実況			
9.40	.50	時報、ニュース、気象通報等			

第二放送

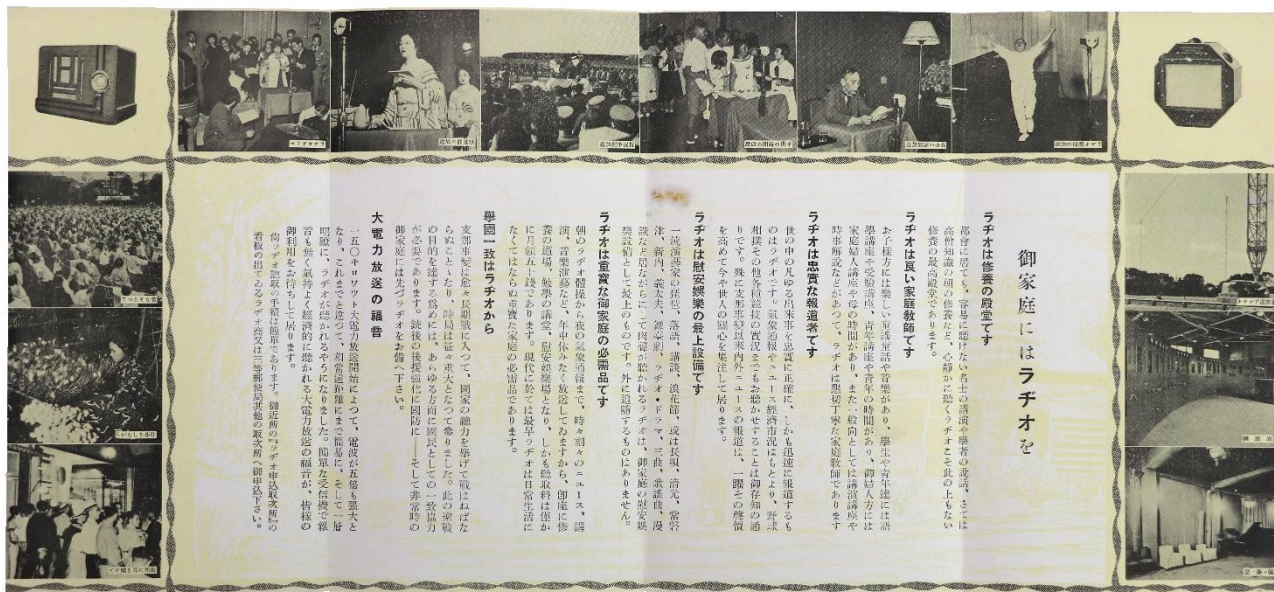
平日

開始時刻	放送時間	放送種目
後 0.00	.30	音楽
5.30	.30	官公署公示事項、職業紹介
6.25	.35	講演、講座、音楽
7.30	2.30	講演、講座、音楽、演藝其他

休日

7.30	2.30	講演、講座、其他
------	------	----------

昭和十三年九月現在



ラジオ

ラジオは軍事的にも重要なメディアとして、昭和に大きな影響力を持った。

写真は昭和十三年（一九三八）九月『ラヂオのおすすめ』（本書五九号）。

第二部 解説編「ラジオ」参照。





管制電灯（上写真）と管制電灯カバー（下）

此の防空カバ
ーを平常に用
ゆれば安眠に
！健康に！第
一です
是非平常に御
使用イザ空襲
にも適用す

(い)

防空カバー

ムライ式

非常管制用

此ノ丸ボールヲ

平常ソケットノ

ツマミニカケテ

置ク事

(登録願済)

「上段」

此の防空カバ
ーを平常に用
ゆれば安眠に
！健康に！第
一です
是非平常に御
使用イザ空襲
にも適用す

「下段」

防空カバー

ムライ式

非常管制用

此ノ丸ボールヲ

平常ソケットノ

ツマミニカケテ

置ク事

(登録願済)

